

チャバネアオカメムシの発生状況（第12報）

令和8（2026）年8月4日

河内農業振興事務所

1 河内管内のフェロモントラップ誘殺状況について

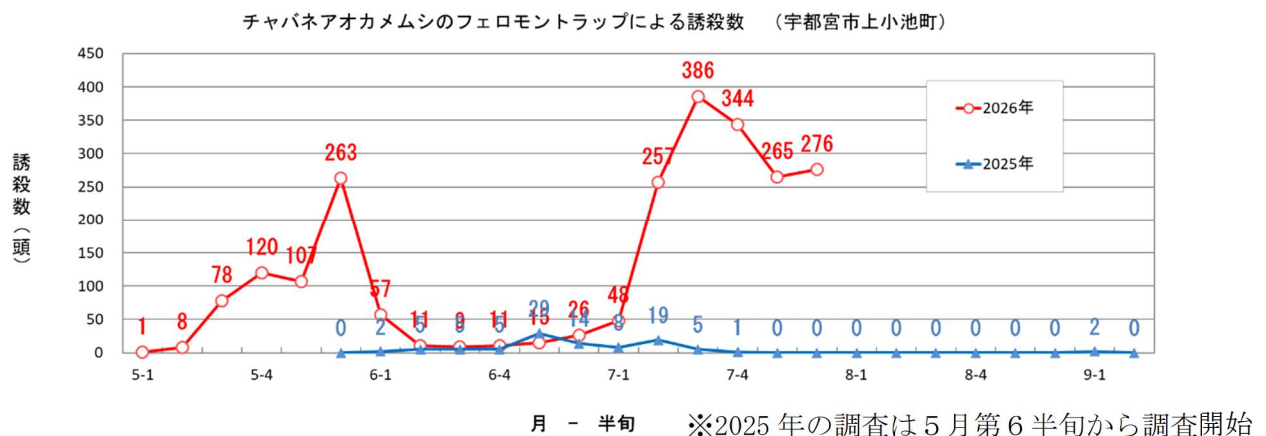
上小池町の誘殺数は引き続き多い状況です。また、瓦谷町は半減、古賀志町は微減でしたが、平年より多くなっています（表1）。蒸し暑い日の日没時に活動が活発となるため、園内外（特に周縁部）を観察し、飛来を確認した場合には薬剤防除を行いましょう。

なお、県内の病虫害発生予察情報については、県農業総合研究センターホームページ（<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/boujo/yosatsu.html>）で随時公開中です。また、栃木県防災LINEでも情報提供を行っています。

表1 チャバネアオカメムシの誘殺頭数（河内管内）

調査地点 調査時期	上小池町※1		瓦谷町※2			古賀志町※2		
	R 8	R 7	R 8	R 7	平年	R 8	R 7	平年
7月第4半旬	344	1	569	1	67	149	0	77
7月第5半旬	265	0	1,047	0	157	155	0	127
7月第6半旬	276 ↗	0	512 ↗	0	160	142 ↗	0	139

※1 河内農業振興事務所独自調査 ※2 県農業総合研究センター調べ ※3 矢印は平年比較



2 県内設置のフェロモントラップ誘殺状況について

県内各地の誘殺状況は表2のとおりで、芳賀町は7月第5半旬に比べ減少しています。また、那須烏山市は7月第5半旬に引続き激増しており、県内で最も多い誘殺数となっています。

表2 チャバネアオカメムシ誘殺頭数（河内管内以外） ※矢印は平年比較

調査地点 調査時期	芳賀町		那須烏山市		矢板市		佐野市	
	R 8	平年	R 8	平年	R 8	平年	R 8	平年
7月第4半旬	373	22	3,741	38	16	9	29	30
7月第5半旬	578	40	6,999	55	45	23	6	41
7月第6半旬	366 ↗	42	10,483 ↗	65	45 ↗	34	2 ↘	32

県農業総合研究センター
発生予察情報



栃木県防災 LINE
(LINEID: @756bxcgu)

